

憲法改正国民投票法の諸問題

香川大学大学院 香川大学・愛媛大学連合法務研究科 教授

高橋正俊

はじめに

- 1 昭和28年「日本国憲法改正国民投票法案」の作成と、本草案の国会提出断念の経緯
- 2 「日本国憲法改正国民投票法案」の問題点と、それに対する今日的考慮
*考慮事項としては、
 - (1) 憲法96条(さらに47・44・21条など)による国民投票法への要請と対応
 - (2) 国民投票を適切に遂行するための技術的要件
 - (3) 日本社会の社会的・技術的發展への対応
 - (* 以下、比較の対象として、現在公表されている政党の案を参考にさせていただく)
- 3 草案作成につき注目すべき問題点
 - (1)投票権者の範囲
 - (2)発問単位の問題
 - (3)訴訟の問題
 - (4)国民の承認時期と訴訟の関係
 - (5)国民投票運動に関する規制

残された問題

発議・提案からの接続と、公布への接続